



きざし

勝田第二中学校 学校だより 第18号

令和8年9月18日（金）発行

文責：校長 川上徹行

勝田二中HP ↓

<https://hitachinaka.scho>

<olweb.ne.jp/0820010?tm>

=20260324163759

“地域と共にある学校づくり”としての取組！

ひたちなか市で学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）が始まってから、今年で6年目となりました。本校でも、地域の皆様とのつながりを生かしながら、学びを学校の中だけに閉じない教育活動を進めています。

夏休み中の職場見学では、地域の皆様のご厚意により、多くの事業所で貴重な体験の機会を提供していただいております。また、ひたちなか総合病院、茨城工業高等専門学校、〇〇キッズ基金、〇〇〇トラベルなど、近隣の様々な施設や関係機関との協力・連携により、ゲストティーチャーによる出前授業も行っています。学校の教師とは異なる立場や経験をもつ方々との出会いは、生徒にとって新鮮な学びとなります。実際の仕事や社会に触れたり、その道で活躍する方の話を聞いたりすることで、「こんなことができるんだ」「自分もやってみたい」「自分にもできるかもしれない」といった思いが生まれます。こうした“代理体験”から生まれる自己効力感が、生徒自身が一歩踏み出してみようとする原動力となり、「わかった」「できた」という実感につながっていくのだと考えています。これからも、地域の様々な人や施設、職種とのつながりを生かし、生徒が社会と出会い、自分の可能性を広げていくことのできる教育活動を展開してまいります。

子供たちの健やかな成長のために、今後も保護者並びに関係者の皆様の応援やサポートを、よろしくお願いいたします。（※次年度からの制服、展示中です。）



先生たちの学び②…「市教育委員会の訪問指導」から

生徒一人一人の「わかった」「できた」につながる授業づくりのため、教職員の授業力向上を目的とした市教育委員会による学校訪問が行われています。教職員各自の自己研修や職員研修、校内研究を通じた「探究的な学び」の推進を、さらに充実させていくための機会でもあります。授業力を高めるためには、授業を公開し、助言や指導を受け、研究協議を通して授業を振り返るという学びのサイクルが重要です。自分の授業を見つめ直し、他者からの気づきを得て、次の授業へとつなげていく。こうした教師自身の学びの積み重ねが、生徒の学びの質を高めることにつながります。

これからも、生徒の可能性をさらに引き出す授業づくりを目指し、私たち教職員一同、学び続けてまいります。【↓ 2年理科：電子顕微鏡を各自の端末でモニタリング】



【↓ 訪問後の研究協議の様子】



【3年理科：対照実験で比較検討 ↓】



【↓ 1年英語：AIによるプレゼンの添削】

